

次の10年、さらなる発展のために

●浦高同窓会常任理事会を終えて！

今日は午後から浦高同窓会（会長：川野幸夫氏）の13時から常任理事会、15時から理事会、16時30分からの懇親会と約4時間強にわたり浦高内の麗和会館で過ごしてきました。

今日の議題は、5月22日(日)13時30分から、さいたま新都心の“ラフレさいたま”にて開催される総会開催(案)、また総会に向けた平成27年度事業報告及び決算(案)、平成28年度事業計画(案)と予算(案)、



平成28年度役員(案)に対する審議でした。総ての議案に対して、常任理事会と理事会で承認がされましたので、総ての議題が来月の総会で審議されることとなります。【写真：理事会の様子、正面が正副会長と常任委員】

今回の議題の中で一番大きな事案は、昨年度改正された同窓会会則に沿って行われる役員改正です。一昨年、川野会長からの指示で常任委員会の中に「同窓会あり方検討委員会」が設置され、約半年の間に9回の検討会が行われて、会長をはじめとした役員

の任期、理事や常任理事の選出方法などについて真剣に議論が行われ、昨年の総会で会則改正が行われました。昨年も2回のあり方検討委員会で理事の推薦方法の詳細や常任理事の選出方法などについて議論を行ってまいりました。こうした議論の積み重ねの上で総会で選出される会長以下の役員(案)が本日の名簿に掲載されていました。

来月の総会議決を以て川野幸夫会長の4期8年が終了します。理事会の最後にご挨拶がありました。

* *

◆川野会長ご挨拶

本日は総ての議案に対して慎重審議のうえ、総てご承認いただきありがとうございました。本来であれば、総会を以て退任となるのですが、理事、常任理事と親しい皆様への挨拶は、本日が最後の機会としますので、お礼のご挨拶をさせていただきます。前・川本会長の下での副会長、そして会長としての4期8年は正直に申し上げて長いものでしたが、皆様にご支援をいただき大任を果たすことができました。ありがとうございました。

浦高が好きで母校のために力を尽くそうという多くの方々が集まっている同窓会で会長職を努めるというのは、大変緊張する時間でした。今回、常任理事会と理事会で役員改正案が承認されて正直ホッとしております。

この8年の中では、120周年記念事業としての奨学財団の設立と、プレゼンスの高まっている浦高の同窓会として開かれた同窓会活動を進めるための組織作りを行うことができました。総会以降は新たな体制で、さまざまな事業に取り組んでいただくこととなりますが、私も奨学財団の運営などは、暫くの間、続けてまいりたいと存じます。これからも浦高と浦高同窓会の発展のために皆様のご協力をお願いし、お礼のご挨拶とさせていただきます。」

理事の星野和央さん(4回卒)からは、浦高120周年記念事業、奨学財団の設立、新たな組織体制づくりを成し遂げられた会長の長年にわたるご労苦に対して感謝の言葉がありました。

* *

◆川野体制での8年間

今、川野会長が就任された平成20年以降のメッセージを会報から拾ってみたいと思います。

◇平成21年会報 「同窓会」のさらなる発展を

「浦中同窓会が明治43年、浦高同窓会が昭和25年に発足しており、歴史と伝統のある本同窓会です。『母校との連絡を緊密にして会員相互の親睦や福利を図る』ことを目的にして今日まで運営されて来ました。私達もしっかりと受け継いで行きます。〔中略〕。浦高の教育現場が、将来のリーダーたる人材を育成する場であることは昔と同じですから『天下の浦高』発展に役立つ同窓会でありたいと考えています。さらに、地域職域同窓会の活動を支援すること、浦高百年の森づくりを地道に進めていくこと。」

◇平成22年会報 「天下の浦高」復活に軌道を

◇平成23年会報 リーダーたるべき人材の育成

◇平成24年会報 グローバル人材の育成

◇平成25年会報 奨学金制度の設立に向けて

◇平成26年会報 「浦高同窓会奨学財団」の発足

◇平成27年会報 奨学財団の本格スタート

◇平成28年会報 「第59号」(最新号)

記念すべき百二十周年から次の10年に向け

* *

川野会長の8年間を振り返らせていただくと、会員の親睦と福利を中心にして浦高百年の森づくりに情熱を掛けられるとともに、同窓会の原単位である地域職域同窓会の活性化にご尽力されました。そして、仕上げはグローバルでリーダーたるべき人材育成のための同窓会奨学財団と着実に初心を貫徹され、最後は同窓会の新体制を創設されました。

さて、懇親会では今総会を以て常任理事を定年制で卒業される鳥井隆一郎さん、田中薫さん、志村嘉一郎さん(皆さん11回卒)がご紹介されました。私にとっては「ミスター浦高」の皆さんです。皆様、ありがとうございました。次の時代が始まります！